

モーターボート競走

30

年史

収益篇

カラーグラビア

..... 1

総論

はじめに.....10

施行者収益.....11

振興事業.....11

特別協賛競走の実施による事業.....12

社会的評価.....14

地方財政の中の収益金

地方財政の窮状.....17

関係者の苦闘.....18

地方財政への寄与.....19

収益の均てん化.....21

振興事業に貢献する交付金

振興事業制度の沿革.....26

交付金制度の変遷と(財)日本船舶振興会の設立.....26

19条交付金とそのしくみ.....27

振興事業のあらまし.....28

特別協賛競走による事業

日本万国博覧会.....39

沖縄国際海洋博覧会.....40

B & G 財団.....41

資料

売上、収益、交付金等一覧表.....47

モーターボート競走事業収益金使途状況一覧表.....48

モーターボート競走施行者一覧表.....49

19条交付金使途一覧表.....53

造船関係事業に対する貸付状況一覧表.....54

造船及び造船関連工業関係補助金交付状況一覧表(1号交付金).....55

海難防止関係補助金、助成金交付状況一覧表(1号交付金).....56

海事思想の普及、観光、体育、文教、社会福祉関係補助金  
助成金交付状況一覧表(2号交付金).....57

B & G 財団海洋センター一覧表.....58

世界に貢献するモーターボート競走の収益金



▲各国から贈られた勲章を着用した笹川会長  
私に贈られた数々の勲章や名誉市民章はモーターボート競走のファンをはじめ私が会長を務める1300万人に贈られたもので、私はその代表として慎しんでお受けしたものである……  
—笹川会長あいさつより—



.. WHO 本部に建立された胸像 ▶



▲ H. マーラWHO本部事務局長と握手を交す笹川会長  
天然痘の根絶、ハンセン氏病、寄生虫の撲滅活動、難民救済事業にはたしたモーターボート競走の収益金の効果は国連をはじめ国際的に高く評価されている。WHOでは創設以来4番目、現存者では唯一人という胸像を建立し業績をたたえている。

▼カーター前大統領と会見する笹川会長



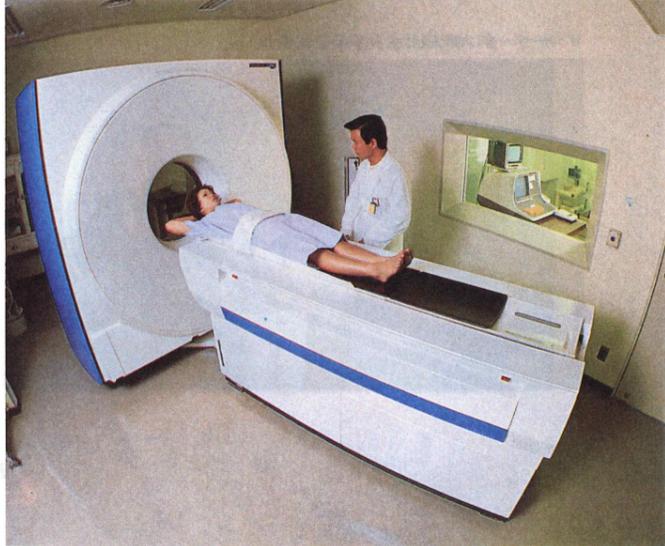
▼体育館（府中市）▶



▼幼稚園（府中市）



▼特殊レントゲン装置（青梅市）



▲給食センター（丸亀市）



▲競艇新大橋 —新居・雄踏線— 環境センター（下関市）▶



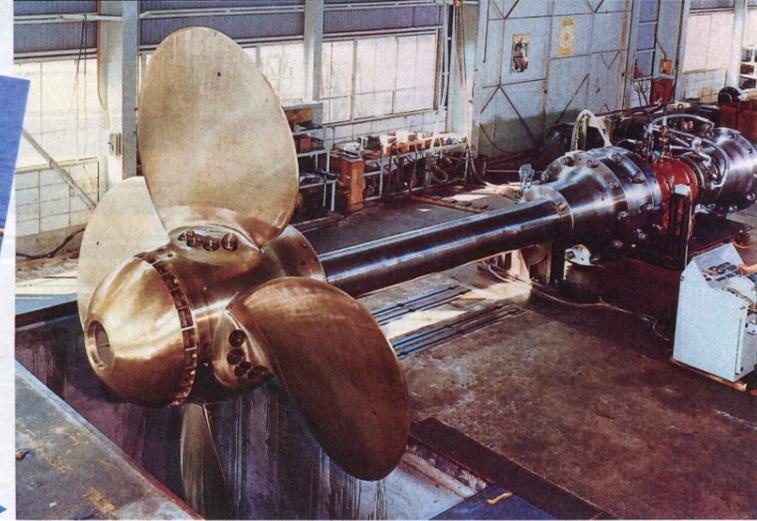
▲総合スポーツセンター（戸田市）



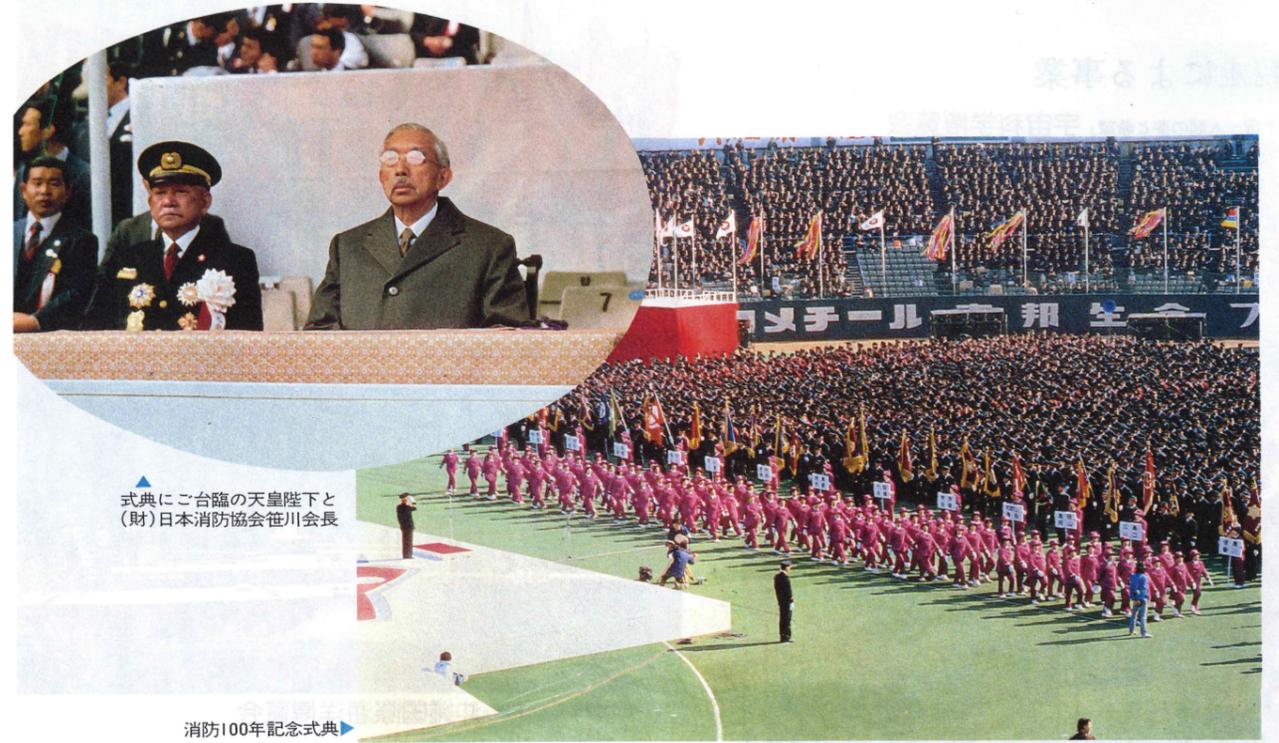
水中作業船「はくよう」▲  
海事思想の普及に  
〈海洋少年団〉▼



▼省燃費50%帆走タンカー〈世界最初の自動操帆タンカー「新愛徳丸」〉



可変ピッチプロペラ▶



▲式典にご台臨の天皇陛下と  
(財)日本消防協会笹川会長

消防100年記念式典▶



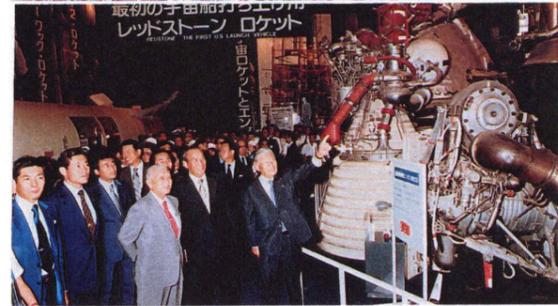
▲海、船に関する知識を満載した「船の科学館」



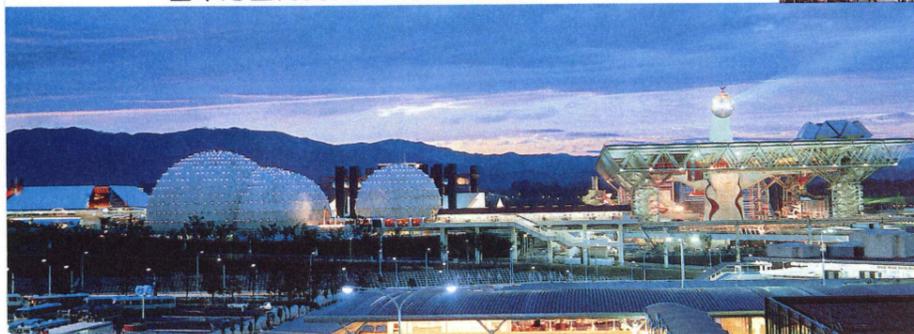
▲伝統芸能の振興に〈吟剣詩舞道〉

特別協賛競走による事業

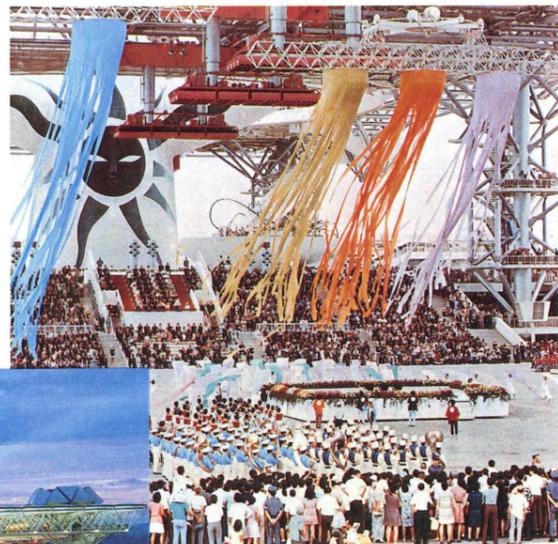
「宇宙—人類の夢と希望」宇宙科学博覧会



日本万国博覧会 「人類の進歩と調和」



「海—その望ましい未来」沖縄国際海洋博覧会



海外体験航海「にっぽん丸」



▲本部B&Gセンターとテニスコート



▲弘前海洋センター



▲海洋性スポーツ

プール、カヌー、ヨット▶



▼世界平和会議に日本代表として出席

パリのユネスコ本部で開催された世界平和会議の席上、笹川会長はユネスコに「平和教育賞」を設けることを提案(財)日本船舶振興会は同賞の基金として100万ドルを寄贈した。



▲パリのユネスコ本部で行なわれた世界平和会議に日本代表として出席



▲マルコス大統領から  
ゴールデン・ハート  
勲章を贈られる



▲フォード元大統領と会見する笹川会長